

東京農工大学動物実験計画書

東京農工大学学長 殿

新規 変更・年度更新

提出年月日

平成27年 4月 13日

受付年月日

平成27年 4月 13日

受付番号

27-22

研究課題	小動物内科学実習
------	----------

研究目的	農学部共同獣医学科における標記の実習において、犬を用いた学生実習を行う
------	-------------------------------------

	フリガナ	ニシアジ コウジ	部局名	職	動物実験の経験等
動物実験責任者名 (選択項目を■)	氏名	西藤 公司	農学部獣医内科学研究室	准教授	教育訓練受講の■有□無
	e-mail	[REDACTED]	連絡先TEL: [REDACTED]		
動物実験実施者名 (括弧内にフリガナ、 選択項目を■)	田中 あかね	(タナカ アカネ)	農学部比較動物医学研究室	教授	教育訓練受講の■有□無
	[REDACTED]	[REDACTED]	連絡先TEL: [REDACTED]		
	松田 浩珍	(マツダ ヒロシ)	農学部獣医分子病態治療学研究室	教授	教育訓練受講の■有□無
	[REDACTED]	[REDACTED]	連絡先TEL: [REDACTED]		
	大森 啓太郎	(オオモリ ケイタロウ)	農学部獣医分子病態治療学研究室	講師	教育訓練受講の■有□無
	[REDACTED]	[REDACTED]	連絡先TEL: [REDACTED]		
	井手 香織	(イデ カオリ)	農学部獣医内科学研究室	講師	教育訓練受講の■有□無
[REDACTED]	[REDACTED]	連絡先TEL: [REDACTED]			

実験実施期間	承認後 ~ 20(16)年 3月	中止・終了等	20()年 月 日
--------	------------------	--------	------------

飼養保管施設 及び 実験室	飼養保管施設	[REDACTED]	実験室	[REDACTED]
------------------	--------	------------	-----	------------

使用動物	動物種	系統	性別	匹数	微生物学的品質	入手先(導入機関名)	備考
		イヌ	ビーグル	雌雄	雌4雄4	コンベンショナル	[REDACTED]

研究計画と方法	<p>研究概要 (研究計画と方法について、その概要を記入する。)</p> <p>犬被毛再生および皮膚再生医療のための基礎研究として、正常イヌおよびネコ皮膚における表皮ならびに毛包構成蛋白の発現解析を行うと共に、それらの皮膚における機能について解析する</p>
	<p>実験方法 (動物に加える処置、使用動物数の根拠を具体的に記入し、「想定される苦痛のカテゴリー」や「動物の苦痛軽減・排除方法」等と整合性をもたせる。)</p> <p>本学共同獣医学科4年次に実施する小動物内科学実習・基礎編および応用編において、身体検査、採血、採尿、骨髄穿刺、脳脊髄液採取、投薬(内服、皮下注射、筋肉注射、静脈注射)、輸液、内視鏡検査、心電図・筋電図検査、眼科検査に関する学生実習を実施する。</p> <p>ほとんどの実習内容では、動物に与える苦痛が軽微であるため苦痛軽減処置は施さないが、骨髄穿刺や脳脊髄液採取など動物に苦痛を与える実習を行う際には鎮痛麻酔薬を使用する。</p>

特殊実験区分 (該当項目をすべて■)	<input type="checkbox"/>	1. 感染実験 安全度分類: <input type="checkbox"/> BSL1 <input type="checkbox"/> BSL2 <input type="checkbox"/> BSL3
	<input type="checkbox"/>	2. 遺伝子組換え動物使用実験 区分: <input type="checkbox"/> P1A <input type="checkbox"/> P2A <input type="checkbox"/> P3A
	<input type="checkbox"/>	3. 放射性同位元素・放射線使用実験
	<input type="checkbox"/>	4. 化学発癌・重金属実験
動物実験の種類 (選択項目を■)	<input type="checkbox"/>	1. 試験・研究
	<input checked="" type="checkbox"/>	2. 教育・訓練
	<input type="checkbox"/>	3. その他
		動物実験を必要とする理由 (選択項目を■)
	<input checked="" type="checkbox"/>	1. 検討したが、動物実験に替わる手段がなかった。
	<input type="checkbox"/>	2. 検討した代替手段の精度が不十分だった。
	<input type="checkbox"/>	3. その他(理由:)

想定される苦痛のカテゴリー (選択項目を■)	<input type="checkbox"/>	B. 脊椎動物を用い、動物に対してほとんどあるいはまったく不快感を与えないと思われる実験。
	<input checked="" type="checkbox"/>	C. 脊椎動物を用い、動物に対して軽度のストレスまたは痛み(短時間持続するもの)を伴うと思われる実験。
	<input type="checkbox"/>	D. 脊椎動物を用い、回避できない重度のストレスまたは痛み(長時間持続するもの)を伴うと思われる実験。
	<input type="checkbox"/>	E. 無麻酔下の脊椎動物に、耐えうる限界に近い またはそれ以上の痛みを与えらると思われる実験。
動物の苦痛軽減、排除の方法 (該当項目をすべて■)	<input checked="" type="checkbox"/>	1. 短時間の保定・拘束および注射など、軽微な苦痛の範囲であり、特に処置を講ずる必要はない。
	<input type="checkbox"/>	2. 科学上の目的を損なわない苦痛軽減方法は存在せず、処置できない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	3. 麻酔薬・鎮痛薬等を使用する。 (具体的薬剤名及びその投与量・経路を記入: 硫酸アトロピン 0.04mg/kg 皮下投与, 酒石酸ブトルファノール 0.2mg/kg 静脈内投与, 塩酸メアミジン 40μg/kg 筋肉内投与, プロポフォール 4-6 mg/kg 静脈内投与, イソフルレン吸入麻酔, メロキシカム 0.2 mg/kg 筋肉内投与)
	<input type="checkbox"/>	4. 動物が耐えがたい痛みを伴う場合、適切な時期に安楽死措置をとるなどの人道的エンドポイントを考慮する。
	<input type="checkbox"/>	5. その他(具体的に記入:)
安楽死の方法 (該当項目をすべて■)	<input type="checkbox"/>	1. 麻酔薬等の使用(具体的薬剤名及びその投与量・経路を記入:)
	<input type="checkbox"/>	2. 炭酸ガス
	<input type="checkbox"/>	3. 中枢破壊(具体的に記入:) 法)
	<input checked="" type="checkbox"/>	4. 安楽死させない(その理由を記入: 次年度の解剖学実習に利用するため柴田秀史教授に譲渡)
	<input type="checkbox"/>	5. その他(具体的に記入:)
動物死体の処理方法 (選択項目を■)	<input checked="" type="checkbox"/>	1. 外部業者に依頼
	<input type="checkbox"/>	2. その他(具体的に記入:)
その他必要または参考事項	(過去の動物実験計画書承認実績、学内の関連委員会への申請状況、飼養保管施設・実験室の承認状況、実験動物の週齢などを記入する。)	

委員会記入欄	審査終了: 20(15)年 5月 7日
	修正意見等
審査結果	<input checked="" type="checkbox"/> 本実験計画は、東京農工大学における動物実験規程等に適合する。 (条件等 <input type="checkbox"/> 遺伝子組換え実験安全委員会の承認後、実験を開始すること。) <input type="checkbox"/> 本実験計画は、東京農工大学における動物実験規程等に適合しない。

学長承認欄	承認: 20(15)年 5月 7日
	本実験計画を承認します。 承認番号: 第 27-22 号 東京農工大学長 (法人印省略)